

令和4年第4回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6月14日(火) 午前10時～	1	栗山尚記	議員	(45分)
	2	成田哲男	議員	(30分)
	3	湯瀬誠喜	議員	(30分)
	4	笹本真司	議員	(30分)
6月15日(水) 午前10時～	5	金澤大輔	議員	(45分)
	6	湯瀬弘充	議員	(30分)

□質問時間割当表

10:00		10:45	10:55	11:25	11:55	13:00	13:30
6月14日 (火)	栗山尚記 (45分)	休憩 10分間	成田哲男 (30分)	湯瀬誠喜 (30分)	休 憩	笹本真司 (30分)	

10:00		10:45	10:55	11:25
6月15日 (水)	金澤大輔 (45分)	休憩 10分間	湯瀬弘充 (30分)	

令和 4 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分	
質 問 事 項			質 問 要 旨			
1		八郎太郎三湖物語関連について (1) 八郎太郎三湖物語をきっかけとした事業についての具体的なイメージについて (2) 八郎太郎三湖物語をきっかけとした広域連携について (3) 広域連携地域内の交通インフラ整備について		① 3 月議会の施政方針において、「八郎太郎三湖物語に焦点を当てたシンポジウムやイベントを開催し、広域連携による新たな観光振興を図る」と述べたが、いまひとつイメージが湧かない。市民の理解を深めるためにも、具体的なプランと目指す成果を説明するべきと思うが、これについて伺う。 ① 広域連携に関わる他地域との協力体制や相互理解は、具体的にどれほど深まっているのか、目指す方向は一致しているのか伺う。また、協力体制が盤石であれば、この事業をきっかけに、観光振興に限らず幅広い分野への広がりも期待できると思うが、これらについての構想があったら伺う。 ① 三湖物語に関わる地域の連携を進めるためには、国道 341 号の通年通行の実現など、交通インフラにおける大きな問題を解決する必要があると思うが、これについての現状と課題、今後の計画について伺う。		
2		円安対応について (1) 円安下での鹿角産品の輸出について (2) 円安下でのインバウンド観光振興について		① 急激に進んだ円安の影響により、物価上昇をはじめとしたマイナス要素が市民生活を苦しめている。世界情勢や米国の金融政策を見ると、この状況はしばらく続くと考え。そこで、円安のプラス要素による利益を市内に還元するためにも、鹿角産品の輸出に向けた環境整備などの戦略を思い切って進めるべきと思うが、現状と問題点や計画について伺う。 ① 他先進国に比べ大きく遅れていた外国人観光客の受入れが、ようやく動き出した。コロナ前の水準に戻るにはまだ時間がかかりそうだが、多方面の機関の調査の結果では、日本への観光旅行の希望は非常に大きい。円安による大きな効果も期待できる。円安のプラス要素であるインバウンド観光客の引き込みへの施策は、他地域に遅れを取ってはならないと強く思うのだが、これについての考えを伺う。		

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45分
質問事項			質問要旨		
3		市の情報発信について (1) 広報かづのについて (2) 市のホームページについて		<p>① 全戸配布を基本としている広報だが、各自治会では高齢化や構成人数の減少により、一部の会員に負担が偏り、それらを原因とし脱会を希望する人が増えている話も聞かれる。広報配布への新たな支援や工夫を考える必要があると考える。また、時代に即したペーパーレスでの発信も取り入れる必要があると考えるが、これらについて伺う。</p> <p>① 効率よく市民へ情報を伝えるためには、より見やすい・閲覧しやすいホームページへのリニューアルが必要と思う。さらに言えば、携帯端末の利用が増えている現状を考えると、アプリなどによる情報発信への展開も必要となってきたと考えるが、先進事例などを参考にアップグレードする考えはないか伺う。</p>	
4		通学環境について (1) バス通学について (2) 通学時における鳥獣対策について		<p>① 学校統合が進み、学校運営の効率化や一定人数規模での教育環境の充実などプラスの面も多いが、通学距離が延びた子供たちにとっては、マイナスの負担が発生したことも現状である。そこで、マイナス面である通学の負担を減らすべく、スクールバス・路線バスの延伸やルート変更、加えて、バス停の安全確保や雨風・降雪をしのげるバス停の環境整備が必要と思うが、考えを伺う。</p> <p>① 現実に起きている通学時における熊による被害は、絶対に防がなければならない。各種対策が講じられてはいるが、まだまだ安心できるものではない。欧米先進国では子供だけで通学すること自体が非常識とされる中、日本での体制整備については、構想すら見当たらない。自己防衛能力に乏しい子供たちの安全を確保するためのさらなる対策が必要と思うが考えを伺う。さらに、近年、目撃情報が出てきているイノシシへの対策も必要と思うが併せて伺う。</p>	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45分
質問事項			質問要旨		
5	新型コロナウイルス感染対策について	(1) 各種祭り・イベントに対する感染対策支援について	①	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントは長い間、休止を余儀なくさせられてきた。多くの方が待ち望んでいた花輪ばやしや毛馬内盆踊りをはじめとする多くのお祭りやイベントが再開を発表し、本番に向け試行錯誤しながら準備を進めている。しかし、休止していたイベントの再開による運営負担が大きいことに加え、現状での運営には感染対策も求められている。そこで、コロナ前には必要のなかった感染対策に対しては行政による資金・物品・人員の力強い支援が必要と考えるが、これについて伺う。</p>	
6	ゼロ・カーボンシティ宣言について	(1) ゼロ・カーボンシティの実現について	①	<p>3月14日、全国最速となる2030年までにゼロ・カーボン達成すべく「ゼロ・カーボン宣言」が発表された。再生可能エネルギー電力自給率が300%を超える本市の特長をもってしても超えるべきハードルは非常に高いものと感じる。今年度、地球温暖化対策実行計画の地域施策編を策定すると報告されたが、残された時間は8年しかない。1日も早くタイムテーブルに沿った具体的プランや詳細な年次目標を、企業を含めた全ての市民に示し、理解を得て、協力していただく必要があると思うが、考えを伺う。さらに、この計画の達成が地域経済の活性化や住民生活の向上につながることを分かりやすく示し、理解をいただかないと、「行政・市民・民間事業者が一丸となって脱炭素社会を構築する」といった実施形態へすらつながらないことを考えると、これらに関しても早急に取り組む必要があると思うが、考えを伺う。</p>	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		移住コンシェルジュについて	① 現在2名の方がコンシェルジュとして移住に関する情報発信などをされているが、地域おこし協力隊としてさらに農林業分野に絞って募集する計画はないか伺う。		
2		新型コロナウイルスについて	① 県内の感染者数は減少傾向にあるようだ。ワクチン接種などの効果といわれているが、重症化を防ぐため60歳以上と18歳から59歳の基礎疾患のある方を対象に4回目接種の計画がある。必要な方への接種と対象外の方への接種を防ぐ周知や対策について伺う。 ② 5歳以上から対象になったワクチン接種は、これからどのように変わっていくと見ているのか市の考えを伺う。 ③ 夏を前に、学校現場では児童・生徒のマスク着用を緩和する動きがあるようだ。具体的にどのような指導をするのか伺う。		
3		地域医療の課題について	① 鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会との意見交換で、かづの厚生病院の救急医を増やすべきとの意見があったようだ。市長は現時点で十分と説明され、非常勤の「常勤化」を目指し、救急医の提案もするとのことだったが、現在の状況を伺う。		
4		地域づくりミーティングについて	① 自治会長会議が開催された中で、細かい議論をするために地域づくりミーティングを開く予定とのことだが、開催する範囲や時期などについて伺う。		
5		ヤングケアラーについて	① 県で公的サービスを受けず家族の介護をしている「ケアラー」の調査を行ったようだ。30%近くの回答の中で人数は614人で、ヤングケアラーとされる18歳未満が全体の23%という結果だった。本市のヤングケアラーの現状について伺う。		

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
6		農業資材の高騰について		① ロシアのウクライナ侵攻も影響して、肥料が大幅に値上げになる見込みである。これから作付けする作物や水稲は来年産に影響が出るようだ。今後も高騰する見込みと言われている中で、低コスト化など農業経営の見直しを含め、市の指導や支援について伺う。	
7		大湯地区における時報について		① 3月議会で質問に出ていた大湯地区のチャイムであるが、設置は検討していないとのことであった。市民の生活リズムを整える効果もあり必要だと思うが、改めて考えを伺う。	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		鹿角市の農業ビジョンについて			
(1)		「水田活用の直接支払交付金」見直しについて		① 2022年度から「水田活用の直接支払交付金」の交付対象が厳格化され、5年間で一度も水張りされない農地は交付対象から除外されるという。畑と水田は土壌の構造が違うため、今から水田に戻すのは難しいなど不安の声が聞かれるが、国の「水田交付金見直し」に対し本市の考え方を伺う。	
(2)		農業従事者の人材確保及び若手経営者の育成について		① 農業従事者の高齢化により、人材確保及び若手農業経営者の育成が大きな課題であると思うが、対策としてどのような取り組みをしているか伺う。	
2		鳥獣対策について			
(1)		鳥獣の生息数について		① 今年度も熊の目撃情報や人身被害・農作物被害が多数発生しているが、本市で把握されている熊やその他の鳥獣の生息数を伺う。	
(2)		年間の捕獲頭数並びに捕獲後の処置について		① 年間の有害駆除による捕獲頭数並びに捕獲用の箱わな(檻)の数量、また捕獲後どのような処置を行っているのか伺う。 ② 捕獲された熊の肉を鹿角の名産ジビエにするなどの活用方法がないか伺う。	
3		文化財保存事業について			
(1)		文化財等の補助金について		① 現在、保存会等への補助金は、イベント等の活動実績報告及び申請が必要となっているが、イベント等の実績がなくても保存、育成目的で一定の補助金の交付はできないか伺う。	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
<p>4 湯の駅おおゆについて</p> <p>(1) 飲食スペースの見直しについて</p> <p>(2) 湯の駅おおゆによる観光案内のその後について</p>						
<p>① 飲食スペースの見直しについて今年度は見送りとなっているが、道の駅の売上げ全体に占める飲食の売上げ割合は大きいものと思われる。スペースの見直しは飲食の売上げアップ等、道の駅経営にも大きく関わることからスペースの見直しは最重要と考えられるが、今後の見通しを伺う。</p> <p>① 昨年12月の定例会で、湯の駅おおゆで観光案内を行っているとの回答であったが、実態は行われていなかった。観光振興からも案内所は必要と思うが、その後の経過を伺う。</p>						

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
1	<p>市の入札事務について</p> <p>① 一連の官製談合事件の公判においては、当該入札案件に対して業者内でも談合があり、また常習化していた事実が報道等で明らかになっている。これに対する市の対応方針を伺う。</p> <p>② 電気工事に関しては官製談合事件になっていない。ただ、過去案件を調べると、入札参加社数が多いにも関わらず、落札率99%以上となった案件が非常に多い。実際、官製談合事件の対象となったかぶの観光ふるさと館の建築工事入札での落札率は約99%で、同電気工事も約99%だった。この事実について、市ではどのように認識し、対応しているか伺う。</p> <p>③ 議会での議決が必要となる1億5,000万円以上の工事契約に関しては、議会での審査をより効果的にするため、議案上程に際して資料として入札調書の配付、また口頭説明時には入札参加数、落札率、最低制限価格等にも触れるべきと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>④ 官製談合事件を受けて、最低制限価格の算出においてランダム係数を導入し、実際に運用が開始されているが、その効果について市の認識を伺う。また、ほかにも実施している改善策があれば同様に伺う。</p> <p>⑤ 鹿角市競争入札等事務処理要綱29条第5項には、「入札内訳書を添付させなければならない」とあるが、実際の入札運用時にはどの程度の詳細な内訳（内訳総括表レベルか、項目ごとの積算内訳書レベルか）を業者に提出させているのか伺う。</p> <p>⑥ 最低制限価格制度よりも低入札価格調査制度の方が、透明性及び公正性が高い。事務量が増えて行政の負担が大きくなることを考えると、全てとは言わないが、一定額以上（例えば秋田市のように設計金額5,000万円以上）においては低入札価格調査制度を導入すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>				
2	<p>定期監査について</p> <p>(1) 定期監査における指摘に対する市の対応について</p> <p>① 令和3年度定期監査報告書の定期監査共通事項において、サービス関係簿冊等の管理において、初歩的な誤りが多く、多くの課で改善されていない旨の記載がある。現在、市でどう認識し、改善のために具体的にどのようなアクションプランに落とし込み、どの程度改善されているのか伺う。</p>				

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
(2) 定期監査報告書における指摘事項方法等の改善について				<p>① 監査報告書では各部署の欄で具体的な指摘をするか、共通事項でも対象となる部署を明示することで、担当者の責任と次回における具体的改善努力の成果を評価できる仕組みにするべきではないかと考えるが、考えを伺う。</p> <p>② 定期監査報告書の大部分は監査資料である。具体的な指摘が少ない。先の質問のような基本的な指摘が複数年に渡って出される状況であれば、当然各部署の専門的な業務においても、指摘がなされるような事象は多数存在すると想像するのが自然で、形式上の手続の正確さのみならず、その中身や、そもそも適用する処理方法の選択が法令上適正であるかなど、今後の監査報告書では、より踏み込んだ指摘がなされるべきと考えるが、考えを伺う。</p>	
3 かづのパワーの経営について				<p>① かづのパワーの具体的な経営計画が見えない。営業再開に当たり、銀行から融資を受ける時点で、一般的には3～5年分の事業計画書も審査される。また、マスコミ報道によれば株主総会の際に県営水力や地熱発電所からの電力調達交渉を進めたいとあるが、これも相手があることで、事業計画書がなければそもそも交渉することも難しいと考える。十分な計画、準備や検討なしに、気持ち先行で投資や具体的な事業が進むことに危機感を覚える。具体的な事業計画書は現時点で存在するのか。存在するなら説明の場を設けるべきであり、存在しないならいつできるのか市の考えを伺う。</p> <p>② かづのパワーと今年度契約している施設は、そのまま東北電力と契約していた場合と比べて年間約700万円割高になっている旨説明があった。しかし、予算上は各施設の管理費等に埋もれて、どれくらいの追加負担をしたのか見えない。かづのパワーの現状をしっかりと把握する意味でも、実際にいくら割高になったのかについては、翌年度予算の審査がある3月議会前に途中実績を、そして最終的に1年間の実績を提示すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>③ かづのパワーの出資比率は49%で、代表取締役も民間から就任となっているが、実態としては重要な交渉や経営方針は実質的に市長以下の組織である市役所で決められている。出資比率50%以上とした上で、市長が代表取締役となり経営責任を明確化することで、事業実態と責任の所在を一致させるべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p>	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項			質問要旨		
1	市制施行50周年事業について		<p>① 賑わい創出補助金には何件応募があって、何事業採択されたのか、またその内容を伺う。</p> <p>② 統一ロゴマークの使用申請はこれまで何件申請されているのか伺う。</p> <p>③ 全戸配布されたロゴマークシールだが、作成費として幾らの予算が計上されたのか伺う。</p>		
2	鹿角市総合計画について (1) 目標達成について		<p>① この計画は各種団体や市民アンケートの意見等を基に策定された市政運営の基本となる計画であり、市の進むべき方向性と目標を定めたものであると認識しているが、普及活動と啓発だけでは市民の十分な協力を得られないのではないか。取りあえず掲げた目標ではなく本気で達成させるため、市民、団体、企業と市をどのように結びつけて目標を達成させようとしているのか伺う。</p> <p>② 初期段階ではインセンティブとして、何かしらの還元が有効と考えるが、以前提案した市民ポイントの導入は考えられないか伺う。</p> <p>③ 課題を解決して目標を達成するには、それぞれに抜本的な改革が必要なのは誰もが分かっていることだと思うが、そこに行政がどこまで本気で介入できるのか。基本戦略1の地域産業の成長と活性化を例に挙げると、企業の魅力不足と人手不足と人材不足と若者の流出の原因は、低賃金にあるということは長年の周知の事実であるが、一向に改善されないままである。市が企業に働きかけて賃金を上げられるのか、個人所得を上げられるのか。個人所得を上げ、税収を増やし、それを元手に企業に必要な事業をつくるという域内循環。それが目指すべき飛躍する町ではないのか。鹿角市の未来のため、そこに今本気で行政が企業に働きかけていく必要があると思うのだが、考えを伺う。</p>		
	(2) テレワーカー活躍促進事業について		<p>① テレワーカーやICTを活用した副業の促進を図っていくようだが、ここでいう副業とはどのような形態のものか。また、その業務形態を採用している地元企業(受入側)、副業を推進している企業はあるのか。さらに、今後は市でも企業に副業推進を働きかけていくということなのか伺う。</p>		

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項				質問要旨	
(3) 就職支援事業について				<p>② これまでテレワーク普及啓発セミナーを受講された方は何人いて、その中で実際テレワークで採用された方は何人いるのか。また、どういった企業のどういった業務に就かれているのか伺う。</p> <p>① 高校卒業者管内就職率アップを図るため、就職支援の拡大として、地元に残る高卒予定者を対象に、自動車運転免許取得費用の一部助成は今後の検討課題として考えられないか伺う。</p> <p>② 高校卒業者の管内就職には自動車免許が必須である場合が大多数を占めると思われるが、自動車免許取得について、学校の方針と求人募集する管内の企業側とのズレがある。企業側は4月からの車の運転は当然と考えているが、学校側は進路先が決まってからでない自動車学校の許可を出さないため、毎年のように免許取得が間に合わず、仕事をしながら学校に通う人が出ている。スムーズに就業に移れるよう、入社日までの免許取得が絶対条件ということを採用事項に加えることを企業に働きかけるなど、就職支援として行政が取れる動きはないか伺う。</p> <p>③ 高校生にとっての就活は、学業や部活で忙しい中自分で情報を収集しなければいけない上に、情報の正確性の判断もつかない。企業にとっても間違った情報をうのみにされたり、本当に欲しい人材に選んでもらえずミスマッチで人材が集まらないというのが現状分析から推測される。 八幡平市では、従来の就活とは真逆の「企業が学生にエントリーする」という新しい形の「就活生ドラフト会議」という取り組みを試みている。 この仕組みのメリットは、どんな仕事が自分に向いているか分からないという学生にとって、企業が手を挙げて売り込むことで、「自分が必要とされている人材なんだ」と認識させることができ、自分に対する自信とシビックプライドの醸成につながるという点と、企業にとってもオープンに本当に採りたい人材を狙いにいけるといって、双方にメリットがあると思う。どちらに対しても就職支援になると考えるのだが、今後取り組んでみてはどうかと思うが考えを伺う。</p>	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項			質問要旨		
(4) 起業・創業支援事業について	<p>① キッチンカーや移動販売車の人気と需要が高まっている。本市でも立ち上げに向けての支援があれば、どんどん参入者は増えると予想する。この事業形態は、増えることで移動商店街や、買い物弱者対策にもなり、販売者が市外で出店すれば本市のアピールにもつながる。戦略的につなげれば、宣伝外交の営業部としても使えて波及効果は多大である。キッチンカーを含む移動販売車での起業はこの事業に該当するか。また、該当しない場合、該当させる考えはあるか伺う。</p>				
3 地域医療の課題について	<p>① いつでも市長室の、鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会との意見交換の記事を見ても、地域医療課題については停滞感から抜け出せていないという感じを抱いた。特に地域の中核病院であるかづの厚生病院との関係性の構築はできているのか伺いたい。公的資金が注入されているのに、医師、看護師の応対に問題点があるなどの市民からの声が聞こえてくる。これらの意見を届けることができる場である「かづの厚生病院運営委員会」が2年間も開かれていない。この会議は、病院に命を預ける市民の声を届けるもので、コロナを理由に無しにできるものではないのではないかと思う。今年度は開催されるよう働きかけをすべきと思うが考えを伺う。</p>				
4 市民アンケートについて	<p>① 政策評価の一環として、成果指標を把握し各戦略や今後の計画推進に活かしていくことを目的としているものであるとのことで、政策立案に大きく関連するものと考えているが、回収率が令和3年のものと70.9%で、そのうち年代別で見ると50代～70代で61.4%、30代未満～40代で37.3%と、これからの市の方向性を考えるに当たって最も重要である若年層の意見の回収が不十分ではないか。アンケートの形式をメール配信にすれば、若年層の取り込みと回収率アップにつながり、本当に必要な意見が見えてくると思うのだが、取り組む考えはあるか伺う。</p> <p>② 市民アンケートの自由意見欄についてだが、取りまとめているだけで、返答やその後のアプローチやフォローアップが市民に届いていないように見える。現に意見として「答えたところで何も変わらない」と、アンケート自体を否定する声もある。市民の声をより施策に反映させ、双方向で改善・発展させていくため、自由意見欄について市民に見えるよう返答を提示するべきではないか。 ショッピングセンターやスーパーですら「お客様の声」には丁寧に、見える形で返答を提示している。何より、市民との対話を重視している現市政であれば、当然そこはやるものと期待しているが、取り組む考えはあるか伺う。</p>				

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
1 新型コロナウイルス関連について (1) 新型コロナワクチン接種について (2) 新型コロナワクチン接種後の慢性的な副反応について				① 厚生労働省が出している新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードによる、ワクチン接種者と未接種者を比較した感染状況のデータ（4月11日～）に大きな修正があったことは把握しているか伺う。 ② 今年秋にもオミクロン株対応のワクチンが供給されるという報道があるが、その際も集団接種を行う予定か伺う。 ③ 4回目接種が進む予定だが、接種を懸念する市民も増えてきている。4回目以降は接種券を送付せず、5～11歳に対して申請制にしたのと同様に、全年代に対しても申請制にできないか伺う。 ① 2回目、3回目接種後、半年から1年が経過しているが、現在も接種部の痛みや倦怠感が残り、苦痛を抱えている市民がいる。その現状を把握しているのか伺う。 ② 新型コロナワクチン接種後すぐに重篤な副反応が出た場合は、医師の診断を受け国に報告しているが、それでも因果関係不明とされている症例がほとんどである。 さらに、接種後半年が経っていても腕や体に湿疹や痛みが残り、様々な慢性的症状に悩まされている方々も多数いる。半年も経っているためワクチンとの因果関係を証明するのは難しいとのことで、国の救済を受けられなかった方の話も伺っている。こうした現状を踏まえ、市独自で慢性的な症状の方々への救済やケアをできないものか、考えを伺う。		

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
<p>(3) マスクの着用について</p> <p>(ア) マスク着用のデメリットについて</p> <p>(イ) 学校や保育施設でのマスクについて</p>				<p>① マスクは咳やくしゃみ等の飛沫の飛散を防ぐのに有効とされている一方、長期に及ぶ着用には、頭痛、皮膚湿疹、熱中症、虫歯、依存、不安、免疫力低下など様々なデメリットが存在する。最近ではメディアでもマスクの着用を懸念する報道が流れるなど、考えが変化しつつある。このことを踏まえ、現在、市内の施設、学校などで一律にマスクの着用を求めているところはあるのか伺う。</p> <p>① 子供は相手の表情や口元を見て、何を考えているのか推測をし言葉を覚え、さらに乳幼児は、大人が咀嚼する口元を真似て嚙んだり飲み込んだりすることを覚える。保育の現場では今、保育士もマスクをしているため、子供たちの発達に支障が出ることを懸念している医師や研究者もいる。子供たちは表情の中のたくさんの情報を使い、少しずつ相手の表情、感情というものを理解していくことから、マスクによって周囲の人たちと信頼関係を構築する社会性の発達に問題が発生する可能性もある。このことは保育施設に限ってのことではないが、子供たちと接する時間が多いことから注視すべきと感じるが、保育士のマスク着用に対する本市の考えと対応を伺う。</p> <p>② 学校における体育や部活動などの運動時、また、登下校の際はマスクを外すように国が推奨したが、マスクを2年間も推奨されたため、着用することが当たり前と思い、外せない児童・生徒がいる。健康被害も懸念されてきている今、場合により非着用を推奨することをきちんと市から市民に公表、通知すべきと考えるが、今後の取り組みと考えを伺う。</p>	
<p>2 災害に対する体制の強化について</p> <p>(1) 消防団員の確保について</p>				<p>① 入団促進事業としてホームページを作成する予定とされているが、入団を促進する対象年齢はどう考えているのか伺う。</p>	

令和4年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	6	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
(2) 消防水利の充足について (3) 野焼きについて 3 小中学校の給食費について (1) 給食費の完全無料化について				① 火災現場では水利が近くないと消火活動が出来ないため、水利は最も重要と言える。市内の火災の現場状況を見ると、水利が近くになく、放水活動開始までかなりの時間を要している場合がある。第7次鹿角市総合計画における水利充足率は令和12年度の目標値で91.4%である。もっと早急に充足率を上げる必要があると考えるが、当局の考えを伺う。 ① 現在も禁止を呼びかけているが、許可のない野焼きをする人が後を絶たない。健康被害、異臭や火災へとつながるケースがあり、懸念されることが多いことから、もっと強く取り締まるべきと考える。現在これを取り締まる条例はあるのか。また、今後どう注視し対応していくのか伺う。 ① 義務教育での給食費無料化を望む声を伺っている。子育て世帯が子育てしやすい環境をつくることで人口の流出を防ぎ、市内への移住促進にもつながると考えるが、もし、給食費無料化をした場合、現在の対象人数でかかる予算を伺う。また、無料化する考えはあるか併せて伺う。	